

Yaita にはいつも愛がある
ai

広報やいた

Yaita

12

December 2025

vol.1188



特集

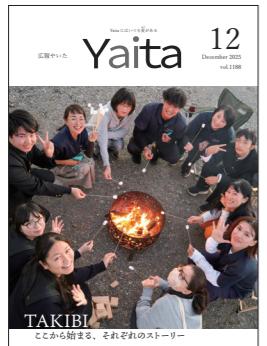
TAKIBI

ここから始まる、それぞれのストーリー

CONTENTS 目次

- 2 特集 TAKIBI ここから始まる、それぞれのストーリー
- 16 応援大使・ヤイタゴハン ほか
- 18 子育て・図書館へ GO ! ほか
- 20 ニュース&トピックス
- 23 はつらつ通信
- 24 市からのお知らせ
- 32 ゆかりびと・編集後記

COVER 表紙の写真



「表紙に焚き火の写真はどう？」と提案いただき、数時間後にこれだけの方が集まり、マシュマロまで準備。笑顔で楽しむ皆さんを撮影できました。つながる力・行動力・遊び心などなど…。TAKIBI の魅力が詰まつた一枚となりました。

POPULATION 人口 (11月1日現在)

29,709人 (△ 8)	出生 9人
男 14,843人 (△ 4)	死亡 35人
女 14,866人 (△ 4)	転入 80人
13,360世帯 (△ 3)	転出 62人
() 内は10月1日との比較	※住民基本台帳をもとに算出
△は減	





みんなの手作りで誕生した「TAKIBI」

2018年、地域をつなぐ新たな居場所として、「矢板ふるさと支援センター TAKIBI」が誕生し、まちづくりを活性化する大きな挑戦が手探りの中で動き出しました。

運営スタッフは、都市部から移住してきた地域おこし協力隊と、地域の実情に詳しい集落支援員。いずれも国の地方創生制度により、就任しました。

拠点となったのは、矢板駅西口エリアでかつて旅館として使われていた建物の一角でした。彼らに与えられた最初の任務は、「リアルな居場所づくり」。壁や天井を壊し、塗



▲初代 TAKIBI スタッフの皆さん

装し、床板を貼り——。現在の TAKIBI で使われているテーブルや家具も、当時のメンバーが DIY で手作りしたものです。メンバーのほとんどが専門知識のない素人ばかりでしたが、地域の職人さんなどに助けてもらいながら作業を進め、約 3カ月後、ついに「初代 矢板ふるさと支援センター TAKIBI」がオープンしました。



▲初代 矢板ふるさと支援センター TAKIBI (扇町一丁目)

官民が連携したまちづくり

その後 TAKIBI は、2022年8月に現在の場所、駅東口の商業施設「coco machi」1階へと移転しました。同年4月には、2階に地方創生をテーマとしたシェアオフィス「スローワーク」がオープンしたばかり。これまでの移住定住相談やシェアスペース運営などのほかに、スローワークと連携した企業誘致や関係人口の創出も期待でき、ここを拠点とした官民連携のにぎわいづくりが始まりました。

「TAKIBI」という名前には、地域づくりに携わる人の心に火を灯すという矢板ふるさと支援センターの理念が込められています。人と人が自然に寄り添い、つながりが広がるコミュニティこそ、まちづくりの力。TAKIBI やスローワークでは、スタッフの想いと地域の温かさが混じり合い、さまざまなコミュニティが芽生え、広がってきました。

その中で生まれた出会いの数だけ、スタッフにも利用者にも、それぞれのストーリーが紡がれてきました。



問い合わせ/
矢板ふるさと支援センター TAKIBI
☎ (47) 7017



利用者のストーリー

利用者の皆さんにTAKIBIでのストーリーを伺うと、そこには一人ひとりが大切にしている“想い”が見えてきました。

音楽×地域×楽しむ

東京から移住した際に知り合った集落支援員とのご縁をきっかけに、TAKIBIで「アフタヌーンジャズ」という演奏会を開くようになりました。

ジャズと聞くと「少し敷居が高い」と感じる方もいるかもしれません、私たちが大切にしているのは“音を楽しむ”ということ。心地よい音色に身を委ねて眠ってしまう方、リズムに合わせて体を動かす方、音に誘われて立ち寄る方——。それぞれの「楽しい」をみんなで共有しながら、自由に安らげる空間を生み出していくらと思っています。

アフタヌーンジャズ
日時／12月13日（土）
14:00～16:00



「和なはアートフード協会」認定講師の資格を持つフードクリエイターとして、あんこを使ったお花スイーツを製作・販売しています。市内に移住した当時は共働きで、仕事と育児に追われ、子どもたちとの時間が確保できず悩んでいました。そんな中、集落支援員とつながり、家族の後押しもあって「あんこのお花教室 世莉花」を開業しました。

現在は育児の合間を見ながら、月に数回、TAKIBIでマルシェやワークショップを開催しています。参加者の皆さんと会話を楽しみながら過ごす時間は、私の心を癒すもう一つの居場所です。回を重ねるごとに新たなつながりが生まれ、リピーターや市外・県外から訪れる方なども増えています。世莉花の活動を通じてTAKIBIを知っていただく方がいることもうれしく思います。

好きなことを続けながら、地域に貢献できるのはTAKIBIがあったからこそ。これからも世莉花のお花づくりで、まちに彩りを添えていけるようがんばります。



田村 未来さん

私の心を癒す
もう一つの「居場所」

多世代が集い、 絆を育む



2年前から実家のある矢板と東京の2拠点で生活をしながら、東京では多世代型の子ども食堂を続けています。「矢板でも同じような活動ができたら」と社会福祉協議会に相談したところTAKIBIにつないでいただき、実現することができました。カフェの運営については、地域の皆さんにご協力いただき、食事を提供しています。

サロンでは、一人暮らしの方や子育て中の方、障がいのある方など、どなたでも参加できるように講座内容を工夫しています。これまで、ボッチャ体験、笑いヨガ、介護講座など、市民講師の方々のお力を借りながら開催しました。食事の提供は予約制になりますが、サロンは申込不要。どうぞ、散歩の途中にふらっと立ち寄っていただければうれしいです。「ここに来ると、なんか楽しいし、ほっとする」そう言ってもらえるような、温かい居場所を皆さんと育んでいきたいと思っています。

コミュニティカフェ
ほっこりわくわく
毎月第1水曜日
10:30～15:00



自分らしく生きること



辻岡 千宙さん
(通称ちぴ)

留学中は、人種差別や文化の違いなども経験し、たくさんの壁を乗り越えました。そして自分と向き合い、学ぶことの楽しさに気づくことができました。その分、帰国後の自分にとって、今までと変わらない学校生活は、これまで以上に物足りなさを感じました。そんな時、登録していた「NPO法人 とちぎユースサポートーズネットワーク」のインターンを通じて出会ったのが、矢板ふるさと支援センター TAKIBIでした。「いいね!やってみよう」そう言って私のアイデアを全力で応援してくれるTAKIBIスタッフの存在は、私の学校生活を支えてくれていると言っても過言ではありません。TAKIBIのみんなに会えてなつたら、今頃矢板市に私の居場所はなかったかもしれません。

TAKIBIで過ごす中で、人とのつながりが大きな力になることを実感しました。将来のことはまだわからないけど、TAKIBIのように人の心に寄り添い、自分の笑顔でみんなを笑顔にしたいと思っています。「ちぴの笑顔に元気もらったよ!」そう言ってもらえる存在になれるよう、これからいっぱい考えて、いっぱい悩みながら、自分らしく前に進んでいきます。



矢板ふるさと支援センター TAKIBI がある商業施設「ココマチ」の 2 階には、市と地方創生に向けたコンソーシアム協定を締結しているシェアオフィス「スローワーク矢板」があります。県外のビジネス利用者やイベントに参加する地域の方など、幅広い層の方々が利用しているほか、地域のにぎわいづくりを目的とした取組なども積極的に展開しています。

人のつながりを生む仕掛け「スロートーク矢板」

矢板に新たなコミュニティを創るイベント「スロートーク矢板」は、2023 年から月に 1 回のペースで開催され、今月で第 30 回目を迎えます。毎回、さまざまなジャンルの専門家や、市長をはじめ地域で活躍する方々をゲストスピーカーに招き、参加者と意見交換を行っています。ファシリテーターを務めるのは、まちづくりやコミュニティづくりの分野で活躍する田口 真司さん。田口さんのファシリテートにより、参加者は自分の考えを深めたり、対話を通じて新たな気づきを得たりと、和やかな雰囲気の中でざっくばらんに意見を交わします。トークイベントの後には懇親会が開かれることもあり、参加者同士が親睦を深める場にもなっています。「スロートーク矢板」は、人と人がつながりながら、地域の未来やまちの活性化について考えるきっかけを提供しています。



SLOW TALK YAITA vol.30

日時／12月 16日 (火) 18:00～19:30

参加費／無料

ゲストスピーカー／

生涯学習課 社会教育主事 海瀬 裕之氏

ファシリテーター／

エコツツエリア協会（大丸有環境共生型まちづくり推進協会）
田口 真司氏



地域に愛される場所を目指して

イベントやコミュニティ活動に使えるラウンジスペースでは、「スロートーク矢板」をはじめ、地域と連携したさまざまなイベントを開催しています。例えば、地域の高校生とコラボした親子教室では、矢板東高校リベラルアーツ同好会の生徒たちと一緒に、地域の親子がフードロスについて学びました。また、TAKIBI で月に 1 回開催されている「よりみち市」に合わせて、2 階では地域の方による「よりみち小さな展示会」を開催。ふらっと立ち寄れる空間づくりにも取り組んでいます。

市外・県外からの人の流れを生み出すためには、まず地域の皆さんに愛され、にぎわう場所であることが大切だと感じています。そういった意味でも、1 階に地域とつながる TAKIBI があることで、連携の幅や可能性が大きく広がっていることは、本当に心強いことです。下から聞こえてくるにぎやかな笑い声にはいつも癒されているし、シェアキッチンから漂うおいしそうな香りに誘われて、私たちスタッフもつい足を運んでしまうことも。引き続きこれからも、TAKIBI との関係を楽しみながら、地域の皆さんを巻き込む新しいアイデアや仕掛けを生み出していきたいです。

また、シェアオフィスをさらに多くの方にご利用いただけるよう、市と協働しながら今の時代に合わせた新しい働き方の創出にも挑戦していきたいと考えています。



TAKIBIスタッフを紹介します

現在、運営を担う地域おこし協力隊と集落支援員は5人。個性豊かなメンバーが、それぞれに地域と向き合い、新しい出会いを楽しみながら、人と人のつながりを育んでいます。



TAKIBIセンター長
地域おこし協力隊員
福田 麗さん

夢を応援する場所でありたい

ふらっと来る方や友達に連れられてくる方など、TAKIBIには毎日たくさんの人が入りしていて、皆さんとの何気ない会話は私のエネルギーの源です。刺激をもらいながら、私も「ゲストハウス開業」という夢に向かって、日々試行錯誤しています。また、中高生が悩みを相談してくれると、頼りにされていることがうれしくて、ついやる気が出ちゃいます。若者の可能性は無限大。学びや気づきにつながればと思い、「やってみたい」と相談されたさまざまなイベントを、TAKIBIで実現させてきました。最初は友達に誘われて来た子が、一人でもふらっと立ち寄るようになったときは、本当にうれしかったです。「今日も立ち寄ってよかった」みんながそう言って集まる地域の居場所を目指しています。



地域おこし協力隊員
坂和 紀明さん

ここは矢板の魅力を発信する拠点

年に数回、県外で移住希望者に向けたイベントに出展しているほか、TAKIBIでは一年を通じて移住者の相談を受け付け、移住者と地域の方をつなぐ交流会なども開催しています。移住者と地元の方では市に感じる魅力がそれぞれ異なり、お互いに新たな発見や気づきにつながっています。

また、バスケットボールやサッカーの強豪校として知られる矢板中央高校があることも市の大きな魅力の一つ。連携した大会や教室を開催するなど、スポーツツーリズムにも力を入れ、交流人口の増加に挑戦しています。引き続きTAKIBIを拠点に地域の方を巻き込みながら、県内外の方々に市の魅力を発信していきます。

自分らしい地域支援のカタチを

私も11年前に移住した移住者の一人ですが、矢板市は自然が豊かで人が温かい場所だと感じています。集落支援員の仕事は、少子高齢化・人口減少に伴い、自然消滅的に薄れてきている地域のつながりを、今の時代に合わせて緩やかにつなぎ直すこと。「まずは知ること」と思い、各行政区のイベントに顔を出していますが、「誰よりも楽しんでいる」とよく言われます。

体を動かすことも好きだし、みんなが笑顔になることも大好きです。4月に就任してから、TAKIBIを通じて地域の方や市外で活躍する集落支援員さんなど、たくさんの出会いがありました。皆さんとのつながりを大切にして、私らしい地域支援のカタチで、地域に笑顔とぎわいを増やせればうれしいです。



矢板地区集落支援員
三浦 留梨子さん

地域の子どもたちの成長を見守りたい

「育ち盛りの子どもたちが、お菓子やインスタント食品でおなかを満たす機会を少しでも減らせば——」そんな想いから集落支援員の発案で始まったイベントが、「矢板おむすび」です。地域の方からの寄付で集まつた野菜やお米を使って、毎週水曜日の夕方にごはんを提供しています。開催して1年半が経ちますが、毎回豊富な食材で色とりどりのメニューが作られていることは、地域の愛のたまものだと感じています。

子どもたちには、地域の温かさに触れながら成長してほしいと思っています。ここで過ごした時間がふるさとの思い出の一つとして子どもたちの心に刻まれていたら何よりです。引き続き私自身も「ごちそうさま」の笑顔を楽しみに、TAKIBIのお母さんとして、愛情たっぷりのごはんを用意したいと思います。



泉地区集落支援員
遠藤 優美さん

地域と共にある子育てを

シェアキッチンは、お試し開業や副業などを気軽にスタートできるほか、利用者同士の情報交換の場にもなっています。世代を超えた利用者同士のつながりが生まれたり、その日限りのコラボメニューが誕生したり。皆さんのアイデアやバイタリティには驚かされることが多い、刺激をもらっています。

また、地域のイベントのお手伝いなども参加していますが、イベント当日は育児と両立しながら親子で参加し、経験豊富な地域の方々とふれあうことで、学びと元気をもらっています。

少子高齢化が進み、各地域の自治会の在り方にも課題が見られます。持続可能な地域づくりを模索しながら、地域と共に子育ての楽しさを伝えられるような存在になりたいです。



片岡地区集落支援員
長田 彩乃さん



TAKIBI で
生まれた
小さな出会いへ



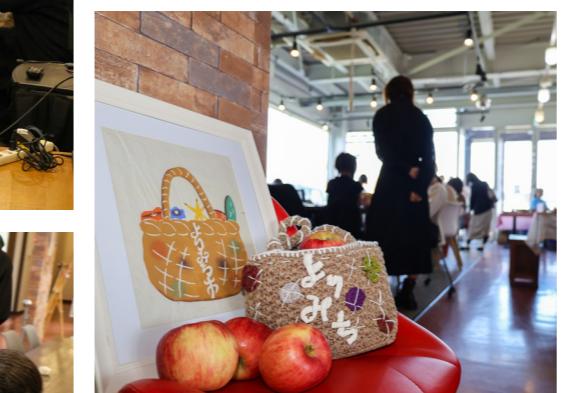
一緒に過ごす時間を
少しずつ
積み上げていく



A group of people are gathered in a room with a brick wall and a large mirror. The people are smiling and looking towards the camera. The room has a warm, rustic feel.



出会いの連続が
新しいアイデアを生み
まちを照らす灯となる



A group of people are gathered in a modern, open-plan space, possibly a cafe or a co-working office. In the foreground, a woman stands at a wooden table, presenting to a seated audience. The audience consists of several individuals, some looking at laptops and others listening attentively. A large screen on a stand in the background displays Japanese text, which appears to be the content of the presentation. The room has a warm, contemporary feel with wooden walls and furniture.

人と人をつなぐ TAKIBIスタッフ
“架け橋”

宇都宮大学地域デザイン科学部では今年度より、矢板ふるさと支援センター TAKIBI に社会教育実習の学生の受け入れをお願いしています。学生たちは、地域の方々と関わりながら“まちづくりのリアル”を体験し、貴重な学びの場を提供いただいています。

まちづくり・にぎわいづくり・ひとづくりにおいて大切なこと、それは『人と人とをつなぐ架け橋になる人がいること』。

「熱い想いを持っている人」

「やりたいことがある人」

「楽しいことが好きな人」

そんな人が、あっちにもこっちにもたくさんいれば、「何もしなくとも自然にぎわいが生まれる」と思うかもしれませんのが、実はそうではありません。どれだけ熱量の高い人がいても、その人たちが「集う場所」と彼らを「つなげる人」がないと、そのエネルギーはうまく融合されないです。また、「つなげる人」だけがいても、熱量や能力を持った人が集まる場所がなければ、やはり何も起きません。

その点で、TAKIBI は、「集う場所」であり、運営スタッフは、「つなげる人」です。そして何より TAKIBI の最大の価値は、さまざまなカラーを持った運営スタッフがいて、自立していること。

TAKIBIでは、小学生がゲームを楽しみ、高校生が勉強し、主婦の皆さんがマルシェを開き、高齢者の方がサロンに集います。世代も立場も異なる人たちが入れ替わりながら訪れ、自然と交流が生まれています。まさに、スタッフ一人ひとりの魅力に引き付けられて、人が集うことの積み重ねによって生まれたものです。こうしたにぎわいの連鎖が広がっていくことこそ、矢板市の大きな強みであり、このまちの確かな魅力になっていくと感じます。



宇都宮大学
地域デザイン科学部
准教授 若園 雄志郎さん
コミュニケーションデザイン学科

今日はTAKIBIで何する？

さあ TAKIBIへ行ってみよう
きっと笑顔になれる何かが起きる
いつもの5人が、
地域のみんなが、
あなたとの出会いを待っている

TAKIBIで、あなた色の灯をみつけよう
そして今、
矢板のまちで、あなたのストーリーが始まる――





ラ ヴ イ ン ズ
Lavin & S

あゆさん・みゆさん
Ayu・Miyu

栃木県在住。2015年にリアル姉妹ユニット「Lavin&S」を結成。とちぎ未来大使・県赤十字血液応援サポートとしても活躍し、CRT栃木放送「恋する動物園☆」のメインパーソナリティや、栃木ゴールデンブレーブス公式球団歌「金色の勇者」の歌唱など、地元を元気にする活動を展開。2019年、やいた応援大使に就任。

●活動する中で印象に残っている出来事は?

2人ともステージで表現することが好きで、栃木の皆さんにエンターテイメントを通して笑顔を届けたいという想いから、Lavin&Sとしての活動を始めました。これまでの活動の中で特に印象に残っているのは、とちぎ未来大使に任命していただいたことで、今後栃木のためにもっとがんばりたいという気持ちが強まりました。

●「Lavin&S キッズハピネスプロジェクト」について

子どもたちにエンターテイメントをもっと身近に感じてもらい、わくわくするような時間をプレゼントしたいという想いで2023年から幼稚園や保育園を訪問しています。園児の皆さんのが手作りの応援グッズで迎えてくれたり、「ありがとう、楽しかった!」「私もLavin&Sになりたい!」と声をかけてくれたりして、とても心が温まりました。子どもたちの笑顔を見るたびに、この活動を続けて良かったと感じます。



問い合わせ／秘書広報課 ☎ (43) 3764



●矢板市について

とちぎテレビ イブ6プラス内の「やいた大好き」では、スタジオメンバーとして矢板市の魅力を伝えるお手伝いをしています。自然豊かで食べ物がおいしいところ、若い世代がまちの魅力発信に積極的に取り組み、それを地域全体で応援しているところなどがとても印象的です。



矢板市は祖父母が住んでいることもあります。お花見をしたり、祖父母の家の屋上から花火を見たりしたことが、特に思い出に残っています。私たちにとって矢板は、第2の故郷のような存在です。

●今後の目標や夢を教えてください。

Lavin&Sは今年で活動10周年を迎えました。これまでの経験を生かし、今後はステージに限らず、さまざまな形で地元・栃木県を盛り上げていきたいと思っています。矢板の皆さんに、これからも笑顔と元気を届けられるようがんばりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

春休み短期コース
ご予約受付中!

緑新
グループ 矢板自動車学校
TEL: 0120-037-194

早期予約割引
1/8までのご予約で
5000円割引!

卒業まで
追加料金なしの
保証で安心です!
軽食
あります

詳しくはホームページをCheck!
矢板自動車学校
TEL: 0287-43-1267

矢板市食生活改善推進協議会 監修
矢板御飯
ヤイタゴハン

「小松菜のパンケーキ」

●材料 (2人分)

- ホットケーキミックス … 50g
- 小松菜 (葉部分) …… 20g
- 卵 ……………… 1/2個
- A 砂糖 …………… 大さじ 1/2
- 牛乳 …………… 大さじ 2

【飾り用】

- 生クリーム …………… 適量
- 季節のフルーツ …………… 適量



●作り方

- 小松菜の葉はできるだけ細かく刻み、Aと混ぜ合わせる。
- ①とホットケーキミックスをよく混ぜ合わせる。
- フライパンに油 (分量外) を入れて温めた後、一度ぬれた布巾の上で軽く冷まし、②を入れ弱火で焼く。

- 表面に気泡ができる、乾いてきたら裏返し両面を焼く。
- 生クリームやフルーツなどで飾り付ける。

Memo

小松菜は栄養価も高く、えぐみなども少ない野菜なのでスイーツにもおすすめです。



集落支援員発

地域あれこれレポート

10月下旬～11月上旬
各地区で「ぼうじば」が開催されました



地域をつなぐ集落支援員が、四季折々、各行政区などで行っている行事をレポートします。

荒井では、移住者交流会「やいたび」の参加者が、地域の皆さんと一緒に、ぼうじばで使う「わらでっぽう」作りを体験しました。参加者はわらを束ねて形を整えるなど、昔ながらの道具づくりに挑戦。交流を深めながら、地元の文化に親みました。

乙畠では、十三夜に合わせてぼうじばが行われ、子どもたちは各家庭をまわり、来年の豊作を願って元気に歌いました。寒さに負けずがんばった子どもたちは、お菓子などをもらいうれしそうでした。

市内各地で受け継がれる「ぼうじば」。地域の絆を感じる、季節の風物詩となっています。

忘新年会
予約受付中! 新太郎
新メニュー追加!
価格値下げしました
選べるプランあります!
学生・一般アルバイト
募集中
ご予約・お問合せ
新太郎 0287-44-2811
ホテル 0287-43-1511
週末は込み合いますので
お早めのご予約をおすすめします



スケート教室の開催について

青少年健全育成の一環として地域の仲間づくりを目指し、スケート教室を開催します。
日時／2月1日（日）8:00 生涯学習館駐車場集合
場所／日光霧降スケートセンター
定員／40人程度 *申込多数の場合は抽選
対象／矢板地区の小中学生（保護者も可）
参加費／大人2,500円 小中学生1,600円
主催／矢板地区子ども会育成会連合会
申込方法／12月16日（火）までに参加費を添えて矢板公民館へお申し込みください。

そのほか
 ・悪天などにより中止の場合は返金します。（保険相当分は返金不可）
 ・昼食は各自で持参してください。
 ・初心者講習などはありません。
申込・問い合わせ／

矢板公民館 ☎ (43) 0469



イベント・子育てサロン
情報はこちら



子ども未来館情報

●読み聞かせ&絵本であそぼう

日時／毎週火曜日10:30～ **対象**／乳幼児とその保護者
場所／1階 こどもの広場 **参加費**／無料

●大きくなったかな？

身長・体重の計測と手形足形のスタンプを行います。

日時／12月23日（火）～26日（金）9:30～16:00

対象／乳幼児とその保護者

場所／1階 こどもの広場

参加費／無料



●クリスマス工作「サンタのブクブクふうせん」

日時／12月2日（火）～25日（木）

*20～25日はプレゼントを配布します。

参加費／無料



たけりんのレトロ写真館 vol.10



問い合わせ／

生涯学習課 ☎ (43) 6218
 ☎ bunka@city.yaita.tochigi.jp



昭和51年頃の車両
市消防団の消防車納車式の写真です。



現在の車両
時代の移り変わりと共に装備も進化し、
いざという時の備えがさらに強化されました。

図書館へGO！

開館時間／9:00～18:00

休館日／12月1・8・15・16・22・29～31日



1月1～3・5・13・19・20・26日

問い合わせ／図書館 ☎ (43) 5661



●「MAPS 新・世界図絵」パネル展

人気の児童書「MAPS」の原画パネルを展示します。

期間／12月2日（火）～12月21日（日）

*最終日は15:00まで



クリスマスイベント

★えほんひろば&赤ちゃんのじかん 「クリスマス会人形げき」

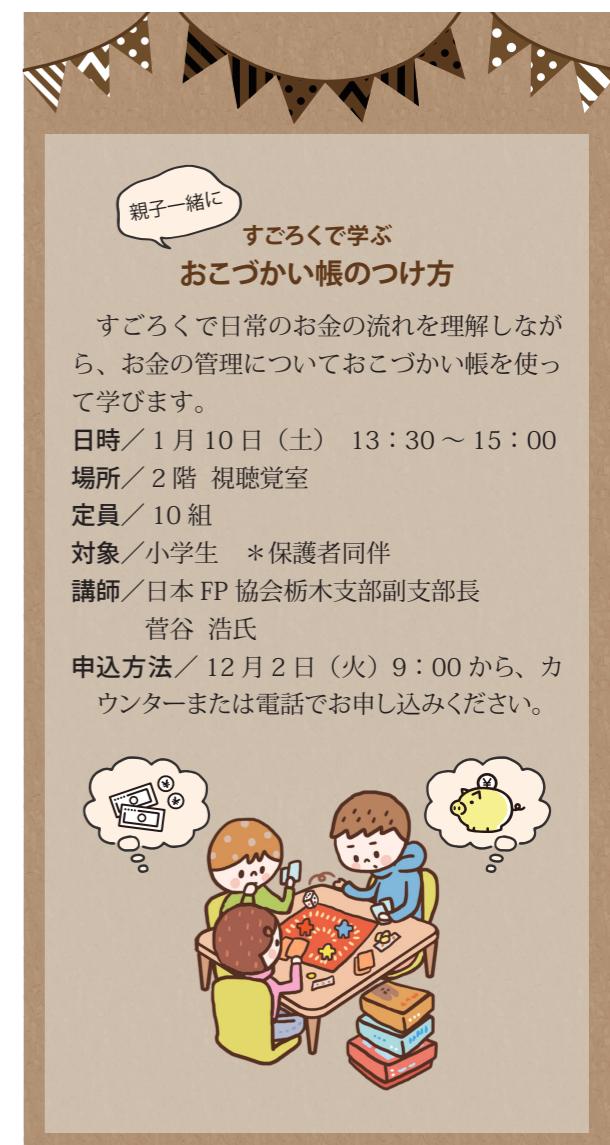
日時／12月9日（火）10:00～12:00

場所／2階 視聴覚室

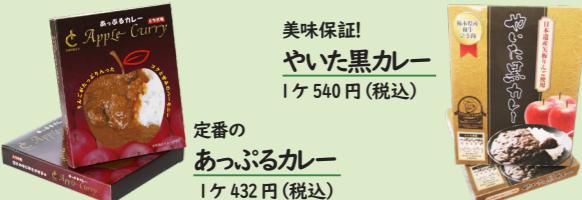
★ポットタイム「クリスマス会」

日時／12月20日（土）14:00～15:00

場所／1階 絵本のおへや



やいたのカレー 好評発売中！



美味保証！
やいた黒カレー
1ケ540円（税込）

定番の
あっぷるカレー
1ケ432円（税込）



用途はいろいろ。
お求めは、
市内取扱店で！

問い合わせ／矢板市商工会 ☎ (43) 0272

2025 商業祭 福引き大売り出し



1等 商品券 3,000円分 (200本)

2等 商品券 500円分 (800本)

3等 現金 50円 (5,600本)

4等 加盟店独自の特別賞





祝・秋の叙勲受章

11月3日発令の令和7年秋の叙勲において、市内から4人が栄えある受章をされました。

瑞宝双光章
【消防】

福田 幸男さん
(幸岡)
1973年から塩谷広域行政組合に入り、消防司令長等を歴任されました。

旭日双光章
【地方自治】

宮本 妙子さん
(長井)
2003年から矢板市議会議員を5期務め、副議長等を歴任されました。

瑞宝小綬章
【防衛】

石下 義夫さん
(コリーナ矢板)
1976年から陸上自衛隊に入隊し、陸上自衛隊幹部学校副校長等を歴任されました。

藍綬褒章
【調停委員】

小野崎晴雄さん
(下伊佐野)
2007年から18年間、調停委員として活動されました。

祝・市政功労者表彰受賞

11月1日文化スポーツ複合施設で、市政功労者表彰式が行われ、長年にわたり各分野でご活躍された方や篤行に優れた方に対し、市長からこれまでの功績に対する感謝の言葉と共に表彰状が手渡されました。



*順不同・敬称略

各分野で功労顕著な方

教育	佐藤 陽子 奥原 初男
体育	山口 忠男
消防	大貫 正博
選挙管理委員会委員	富川 薫
民生委員	塩野 和子

篤行に優れた方

各種奉仕活動	創年大学ぶらぶらクラブ 高橋 啓子
援護厚生(老人給食)	有働 敬子 月井 純子 金田トシイ 伊藤ユキ子 矢口 光一
社会福祉施設への慰問	金田ミヨ子 神田喜美子 寺山美奈子 小塙 洋子 井上 京子 豊田 幸子 慶野 ミエ 田中 ユキ 中山美代子
人命救助	関口 愛
寄附	森 純一 森 珠江 閑谷 秀雄 東泉 則行 (株)スミスケ (株)浜屋組 Bio フォレストーション (株)三上化学製鎖(株) 広島建設(株)

500秒の奇蹟

お一人様一生に一回限りのソニックエステ体験
ベーシックソニックコース ¥1,100(税込)

オプションのおすすめは水素マスク♥

猛暑のダメージをそのままにして
冬を迎えると、肌の老化は一気に
加速してしまいます。
そんな時に役に立つのが♪ 水素
マスク ♪ 超音波と水素の力で、
お肌をリセットしてみませんか?

オプションもされるかたに、
目元コラーゲンプレゼント!!!
1月末まで!!

いせや化粧品店
矢板駅西口徒歩1分
矢板市扇町1-11-1
0287-43-0844
火・土 10-18日祝月休み P有

栃木県×消防署×消防団
矢板高校で体験型防災教育

10月20日矢板高校で、体験型防災教育が開催されました。これは、防災意識を高めるとともに、地域防災の要である消防団への理解を深め、入団促進を図ることを目的としたものです。当日は避難訓練の後、市消防団によるホース投げやVR防災体験など、多彩なプログラムが実施されました。生徒は「ホース投げ体験は思ったよりもまっすぐ投げるのが難しかった」「VRで大型地震を体験し、気が引き締まった」と話しました。



▲ホース投げ体験



▲消防資機材展示



▲AED操作体験



あたたかい
パンプキンスープ
が大人気♪

雨にも負けず、高校生が企画
YAD カフェでハロウィンパーティ!

10月26日矢板ふるさと支援センターTAKIBIで、高校生団体YADによる高校生カフェが限定オープンしました。これは、もともと長峰公園で開催予定だった「YADフェス」が雨天のため中止となり、代替イベントとして実施されたものです。当日は、パンプキンスープの販売やジャック・オ・ランタン作り、矢板東高校サックスユニットによる演奏などが行われ、多くの人でにぎわいました。参加者は「一足早いハロウィンを楽しめた」と笑顔で話しました。

災害時にも温かい食事を
LPガス協会が炊き出しセット寄贈

11月15日子ども未来館で開催された防災まつりに併せて、(一社)栃木県LPガス協会様から「災害時炊き出しセット」の寄贈式が行われました。寄贈いただいた炊き出しセットは、災害時はもちろん、防災訓練や各種イベントなどでも使用される予定です。市長は「災害時における食料の確保は非常に重要な課題。地域の防災力を一層強化する大切な資源として活用させていただきたい」と話しました。



▲(左から)森島市長、(一社)栃木県LPガス協会 伊藤会長、石塚理事



災害時も安心を届けるために エリエールプロダクト（株）と協定締結

11月14日市役所で、災害時における支援協力に関する協定締結式が行われました。これは、災害時にエリエールプロダクト（株）様より、おむつ・ナプキン・マスクなどの生活支援物資や避難場所の提供のほか、平時の防災活動へ協力いただくもので、全国で2例目となります。市長は「近年相次ぐ自然災害により、避難所生活の難しさや、きめ細かな支援の重要性が再認識されている。この協定は地域の防災力向上に大きく寄与する」と話しました。

災害時における支援協力に関する協定締結式 (矢板市・エリエールプロダクト株式会社)



▲ (左から) 森島市長、エリエールプロダクト（株）高森常務取締役

矢板中央バスケ部、2年連続で県制覇！ 全国の舞台へ再び挑戦

11月9日第78回全国高校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）栃木県予選の決勝戦が行われ、矢板中央高校が65-35で作新学院高校を破り、2年連続の優勝を果たしました。矢板中央高校は、12月23日から始まる全国大会に出場します。キャプテンの堤さんは「プレッシャーを力に変えて、試合を楽しむことができた。結果が優勝につながってうれしい。全国大会では、ベスト8を目指して全力を尽くしたい」と話しました。



全国初戦は、12月23日 鵬学園（石川）戦

矢板中央、3年連続15回目の全国大会出場 目標は“全国優勝”！

11月15日、第104回全国高校サッカー選手権大会栃木大会の決勝戦、矢板中央高校対宇都宮短期大学附属高校の試合が行われました。矢板中央が先制点を挙げた直後に宇短附が追いつくなど白熱した展開となりましたが、結果は2-1で矢板中央が勝利。3年連続15回目の全国大会出場を決めました。キャプテンの金沢さんは「県代表としてさらに力をつけ、全国大会優勝を目指して本戦に挑みたい」と話しました。



全国初戦は、
12月29日
奈良育英（奈良）戦



お元気ポイント交換申請について

日時・場所／

	日時	場所
①	12月 8日(月)	9:00～16:00 泉きずな館 会議室4
②	12月 9日(火)	
③	12月11日(木)	10:00～12:00 片岡公民館 ロビー
④	1月22日(木)	10:00～12:00 矢板公民館 団体事務室

持ち物／にこにこメイト・きらりんサポートー手帳、印鑑（代理人が申請する場合）

そのほか／

- ・交換申請をした方は、ポイントの追加はできません。
- ・両方の活動手帳をお持ちの方は、必ず2冊とも提出してください。申請を別々に行なうことはできません。
- ・通常のポイント交換の受付期間は、1月5日(月)～30日(金)です。

【交換対象品などの詳細について】

シニアクラブ・きらきらサロンに参加している方は、代表者を通してご案内します。それ以外の方は、社会福祉協議会にお問い合わせください。

問い合わせ／

社会福祉協議会

☎ (44) 3000



泉常設型サロンいこいす

開館時間／9:00～16:00 利用料／無料

休館日／土曜日・日曜日・祝日

問い合わせ／いこいす ☎ (43) 2231

社会福祉協議会 ☎ (44) 3000 今月のイベント



「ペン字」



第1水曜日の午後、ペン字講座が始まりました。文字のバランスは奥が深く、皆さん真剣に耳を傾けています。

木幡北山はつらつ館

開館時間／9:00～16:00 利用料／1日100円

休館日／日曜日・祝日

問い合わせ／はつらつ館 ☎ (43) 6771



今月のイベント

「ハーモニー響」



音楽指導に長年携わってきた吉住 安弘氏を講師に活動しています。音楽が好きな方、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしたい方、お待ちしています。

MUSBELL

うちの子も 結婚できました!

あきらめないで! まずはお気軽にご連絡くださいませ。

結婚相談所ムスベル宇都宮 ☎ 028-611-3545

独身のお子様の
結婚相談

障がいのある方も、住みやすいまちを目指して アンケート調査にご協力ください

市では、令和8年度末に計画期間が終了する障がい福祉計画と障がい福祉サービスプランの次期策定に向けて、広く意見を聴取するためのアンケート調査を行います。

アンケートについては、こちらの二次元コードまたは、公式LINEから回答いただけます。

回答期間／12月31日（水）まで

問い合わせ／社会福祉課 ☎ (43) 1116

障がいのある方も、障がいがない方も、みんなが笑顔で暮らせるまちを、みんなの手で作りましょう！ナリ。



将来の地域農業を考えよう！

農業を次世代に引き継ぐために、今後の地域農業について語り合う座談会を開催します。地域の実情を知る皆さんの想いや考えを共有し、地域農業の将来を考えます。

農家や農地を所有している方はもちろん、農業や地域の将来に关心がある方など、たくさんの参加をお待ちしています。
問い合わせ／農林課 ☎ (43) 6210

地区名	日時・場所
矢板地区	12月 8日（月）18:00～ 生涯学習館 研修室1
泉地区	12月 9日（火）18:00～ 泉きずな館 会議室5
片岡地区	12月 11日（木）18:00～ 片岡コミュニティホール

シルバーサポーター養成講座

シルバーサポーターとは、自治公民館で行われている高齢者を対象とした介護予防教室や高齢者のサロンで、体操指導などのボランティアとして活動いただく方です。好きなことや特技を生かして、地域のボランティアに参加してみませんか？きらりんポイント対象事業です。

日時・内容／全2回 定員／20人程度

申込方法／12月26日（金）までに、電話または直接窓口でお申し込みください。

申込・問い合わせ／幸齢課 ☎ (43) 3896

	日時	内容	場所
①	2月10日（火） 13:30～15:30	講義「シルバーサポーターとは？」「認知症サポート養成講座」	保健福祉センター
②	2月17日（火） 9:30～11:00	「いきいき体操教室」の見学・体験 * 実際に自治公民館に行き、シルバーサポーターの活動を見学・体験します。	自治公民館

ふるさと納税のPRにご協力ください

ふるさと納税は、市にとって貴重な収入源となっています。令和6年度は全国より約2億7,600万円の寄附をいただき、さまざまな事業に活用されました。年末年始にかけて、市外にお住まいのご親族やお知り合いの方に対し、本市のふるさと納税制度のPRにご協力ください！

寄附をいただいた方へは、特産であるリンゴやイチゴなど多彩な产品や地域事業者のサービスを返礼品としてお送りしています。

問い合わせ／

総合政策課 ☎ (43) 1112



詳しくはこちら

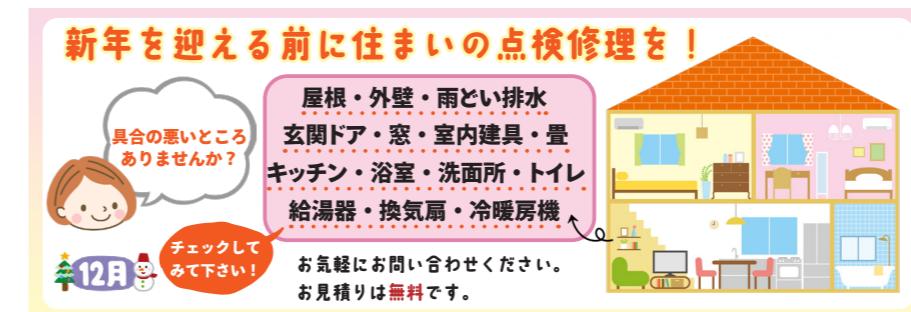


パブリックコメントを募集します

市民の皆さんのご意見を反映させるため、広く意見を募集します。

閲覧場所／担当課・矢板公民館・泉公民館・片岡公民館

名称（案）	募集期間	提出・問い合わせ
総合戦略	12月11日（木）～1月13日（火）	〒329-2192 矢板市総合政策課（住所不要） ☎ (43) 1112 ☎ (43) 2292 ✉ sougouseisaku@city.yaita.tochigi.jp
手話言語条例	12月19日（金）まで	〒329-2192 矢板市社会福祉課（住所不要） ☎ (43) 1116 ☎ (43) 5404 ✉ shakaifukushi@city.yaita.tochigi.jp
新型インフルエンザ等対策行動計画	12月11日（木）～1月13日（火）	〒329-2192 矢板市健康増進課（住所不要） ☎ (43) 1118 ☎ (43) 5404 ✉ kenkouzousin@city.yaita.tochigi.jp
生涯学習推進計画		〒329-2192 矢板市生涯学習課（住所不要） ☎ (43) 6218 ☎ (43) 4436 ✉ syougaigakusyuka@city.yaita.tochigi.jp



凍結・漏水にご注意ください

冬の冷え込みが厳しいときは、水道管の凍結に注意してください。水道管が凍ってしまうと、水が出なくなったり、破裂したりすることがあります。

●水道管の凍結を防ぐには…

・寒い夜には少量の水を蛇口から流しておく

・水道管に布や保温材を巻く

それでも水道管が凍ってしまった場合には、水道管にタオルや布をかぶせ、その上からぬるま湯を何度もまんべんなくかけて、ゆっくり溶かしてください。

【注意】

熱湯をかけると水道管が破裂することがあります。その場合は、お早めに市指定給水装置工事事業者に修理をご依頼ください。＊修理費は個人負担となります。

また、凍結破損による漏水の水道料金は、減免とはなりませんのでご注意ください。

敷地内の給水管から漏水していると、知らず知らずのうちに多額の水道料金になってしまいます。次の方法で簡単に調べることができますのでお試しください。

●漏水を調べるには…

水道蛇口を全部閉めた後、水道メーターの「パイロット」が回っていたら、漏水しています。お早めに市指定給水装置工事事業者に修理をご依頼ください。(賃貸住宅にお住まいの方は管



理会社へ連絡してください) *修理費は個人負担となります。

水道料金の減免などについては、上下水道事務所までお問い合わせください。

問い合わせ／水道課 ☎ (44) 1511

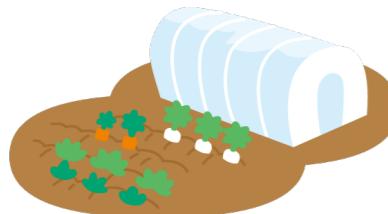
償却資産は毎年申告が必要です

固定資産税は、土地・家屋のほかに償却資産（事業用資産）も課税対象となります。償却資産の所有者は、1月1日現在の所有状況を、資産が所在する市町村に毎年申告することが法律によって義務付けられています。

償却資産とは…

土地・家屋以外で事業に用いることができる有形資産。ただし、自動車税・軽自動車税の課税対象となる車両は除く。

例：外構・広告塔・畜舎やビニールハウスなどの構築物・太陽光発電設備・各種事業用の機械や装置・大型特殊自動車・工具・備品など



●令和8年度償却資産申告書を発送しました

12月1日付けで、前年度に申告した方や新規に事業を開始した方などに、申告書類を発送しました。下記の「申告が必要な方」に該当する方で申告書類が届かない場合は、ご連絡ください。

申告が必要な方／市内に該当資産を所有している個人または法人

申告方法／申告書を直接または郵送で提出してください。

申告期限／2月2日（月）

*令和7年度分の申告がお済みでない方は、早急に申告してください。

*令和7年度、地方税ポータルシステム（eLTAX）による電子申告をした方には、「プレ申告データ」を送信しますのでご利用ください。

申告・問い合わせ／

税務課 ☎ (43) 1115

株式会社JAエルサポート

JA ss じゃすぼーと矢板SS 矢板市矢板183-1

灯油の配達おまかせください！

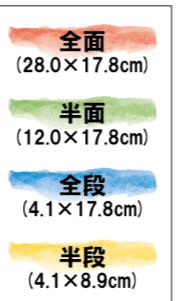
軽油・重油の配送もできます。

注文の手間が省けてお得にご利用いただける灯油定期配送も！

詳しくは下記コールセンターまで！



広報やいたに 広告掲載 しませんか？



「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されています

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が日本年金機構から送付されています。年末調整・確定申告で使用できます。大切に保管してください！

国民年金保険料は、年末調整や確定申告を行うことで社会保険料控除として課税所得から控除され、税額が軽減されます。控除の対象となるのは、令和7年1月から12月までに納めた保険料の全額です。

また、ご自身の保険料だけではなく、配偶者やご家族の国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告を行うときに、領収証書など保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。

このため、1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方には、10月下旬から11月上旬にかけて、日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送られています。

なお、電子データ送付対象者や10月1日以降に保険料を納付した方は、送付日が異なりますので、詳しくはホームページをご確認ください。

税法上とても有利な国民年金は、老後はもちろん不慮の事故など万一のときにも心強い味方となる制度です。

保険料は納め忘れないようきちんと納めましょう。

問い合わせ／

大田原年金事務所 ☎ (22) 6311

市民課 ☎ (43) 1117



詳しくはこちら

市税の納め忘れはありませんか？

●自主的な納付をお願いします

納期までに税金を納めない場合は、催告書が送付され、財産調査のため勤務先への照会や住居の捜索を行い、預貯金・給与（ボーナスを含む）・生命保険・車・不動産などの差押などの滞納処分を受けることになります。

●納税で困ったときは、必ず相談を

病気や失業など、特別な事情でやむを得ず納期限内に納付できない方は、ご相談ください。

●口座振替のおすすめ

市税の納付は、手間がかからず、納め忘れの心配のない口座振替をご利用ください。

問い合わせ／

税務課 ☎ (43) 1115



交通事故などにあったときは

【国保・後期高齢者医療制度加入のみなさんへ】

交通事故または第三者の行為によるけがの治療で、マイナ保険証または資格確認書（以下、マイナ保険証等）を使用する場合には、必ず健康増進課に届け出をしてください。

原則的には加害者が負担すべき医療費を、国民健康保険や後期高齢者医療が立て替えた後、加害者へ請求します。

●ご注意ください

- ・加害者から治療費を受け取ったり示談したりすると、マイナ保険証等が使えなくなる場合があります。
- ・勤務中や通勤途中のけがの場合は、労災保険が優先されるので、マイナ保険証等は使えません。
- ・飲酒運転や危険運転致死傷罪が適用される事故など、故意に道路交通法などに違反し、処罰の対象となるべき行為で起きた事故によるけがの場合は、給付を制限する場合があります。

問い合わせ／健康増進課 ☎ (43) 1118

株式会社JAエルサポート

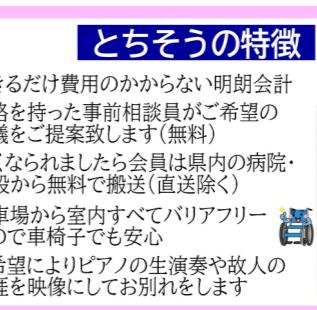
JA ss じゃすぼーと矢板SS 矢板市矢板183-1

灯油の配達おまかせください！

軽油・重油の配送もできます。

注文の手間が省けてお得にご利用いただける灯油定期配送も！

詳しくは下記コールセンターまで！



粗大ごみの出し方・家電製品の回収について

粗大ごみの出し方

指定袋やコンテナに入らない大きさのごみは粗大ごみとなりますので、直接、エコパークしおやへ持ち込みをお願いします。

●エコパークしおや (安沢 3640) ☎ (46) 5711

受入時間／平日 8:30～17:00 *祝祭日を含む

土曜 8:30～12:00

*年末は通常通り受け入れますが、大変混雑しますので、持込時期をずらすなど混雑防止にご協力ください。

*年始(1月1～3日)の受け入れはありません。

料金／10kgにつき100円

持ち込めないもの／家電リサイクル法対象製品(エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機)、PCリサイクル法対象製品、自動車部品、農業資材、コンクリート等がれき類、その他産業廃棄物

家庭でのごみの焼却は、法律で禁止されています

家庭でのごみの焼却は、不完全燃焼による有害物質の発生原因になります。また、火の粉が飛び散り、延焼するなど火災などにつながる恐れがあります。家庭でのごみの焼却は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」により禁止され、違反した場合は罰則規定の対象となることがあります。地域の安全を守るために絶対にやめましょう。

問い合わせ／生活環境課 ☎ (43) 6755

【罰則規定：廃棄物処理法 第25条(抜粋)】

5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する

法令違反の焼却例

- ・家庭のごみを空地や田畠で焼却すること。
- ・家庭菜園で出た作物残さや庭の雑草・枝木竹を焼却すること。
- ・地面・素掘りの穴・ドラム缶・ブロック囲いなどで焼却すること。

家電製品の回収

家庭で使用した小型家電製品(窓口設置の回収ボックス：投入口10×25cmに入るもの)やパソコン機器(デスクトップパソコン・ノートパソコンなど)については、生活環境課窓口で無料回収していますので、ご活用ください。

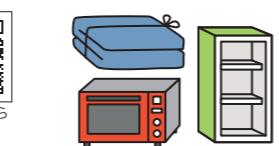
窓口回収できないもの

- ・家電リサイクル法対象製品(エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機)
- ・回収ボックスに入らない家電製品のほか、除湿機・オイルヒーター・電気毛布などの布製品類

問い合わせ／

生活環境課

☎ (43) 6755



就学援助制度についてのお知らせ

市では、小・中学校における義務教育の円滑な実施を図るため、経済的理由によって就学困難な児童・生徒に、学用品費などの援助を行う就学援助制度を設けています。

対象者／本市に住民登録がある児童・生徒の保護者で、

以下のいずれかに該当する方

- ・生活保護を受けている方(要保護者)
 - ・要保護者に準ずる程度に困窮している方
- 支給項目／学用品費・通学用品費・入学準備金・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費・学校給食費・医療費など

申請方法／就学援助費受給申請書に必要事項を記入し、在籍する学校へ提出してください。

*申請書は各小・中学校にあります。

*所得を証明する書類の提出を求める場合があります。

申請期間／年度当初申請(4月認定)は、学校が指定する期日までに提出してください。なお、年度途中でも申請は随時受け付けています。

問い合わせ／

教育総務課

☎ (43) 6217



地域のヒーローに会いに行こう！ やいたお仕事体験フェス

矢板を代表する企業が多数参加し、幼稚園・保育園児、小学生を対象とした職業体験イベントを開催します。将来の夢が見つかるかも!?

キッチンカー出店など、ご家族で楽しめる企画もありますので、ぜひご来場ください。

日時／

12月20日(土) 10:00～15:00

場所／文化スポーツ複合施設

参加費／無料

*体験によっては費用がかかるものもあります。

体験できるお仕事／

獣医・花屋・建築・電気工事・ハンバーガーづくりなど

問い合わせ／

商工観光課

☎ (43) 6211



スノーモービルツアー

雪の積もる八方ヶ原をスノーモービルで楽しむモーターアクティビティです。普段見ることができない冬の八方ヶ原の自然を満喫してみませんか。



日時／1月4日(日) 10:30～13:20

場所／山の駅たかはら周辺 定員／5人 *先着順

対象／中学生以上の方(身長150cm以上の方に限る)

*未成年の方は保護者同伴

募集期間／12月28日(日)まで

参加費／6,600円(保険・昼食代を含む)

持ち物／防寒対策の上、濡れたり汚れたりしても良い服装

そのほか／天候不良時および積雪が無い場合は、中止となります。

申込・問い合わせ／山の駅たかはら ☎ (43) 1515

緑新スタジアム YAITA(陸上競技場)・ サッカー場利用申込を受付中

令和8年度に矢板運動公園緑新スタジアム YAITA(陸上競技場)・サッカー場の利用を希望する団体の申し込みを受け付けます。

申込方法／12月12日(金)までに、泉きずな館にある申込書でお申し込みください。

そのほか／大会などの行事開催や芝生保護のため、ご希望に添えない場合があります。事務局で調整後、2月下旬に結果をご連絡します。

問い合わせ／施設管理公社

☎ (43) 8210



生涯学習情報 「まなび」に掲載してみませんか

各種講座・スポーツ教室・ボランティア活動・出前講座・施設案内など、生涯学習に関する多くの情報を掲載した生涯学習情報「まなび」を毎年発行しています。



2026年度版の編集作業に入るため、新規掲載を希望される方は、生涯学習課までご連絡ください。現在掲載されている団体名・代表者氏名・連絡先などの変更や削除を希望される場合も同様にご連絡ください。

期限／12月26日(金)

問い合わせ／

生涯学習課 ☎ (43) 6218



まなび2025
電子ブック

ぼくのおばあちゃんにじてあげたかったお葬式
事前相談受付中！

家族葬専用式場つむぎ矢板 お式のご相談 いつでもできます
電話無料 ☎ 0120-33-8871

ひろまの整骨院
HIROMANO SEIKOTSUIN

HP さくら市 ひろまの整骨院 検索 LINE予約はこちら
050-8887-2312 〒329-1311 さくら市氏家2532-7



やいた特派員を募集しています

特派員として、広報紙では発信しきれない市のイベント情報や食べ物・風景などについて、「#矢板市」「#やいた特派員」「#yaitagram」のハッシュタグを付けてSNSに投稿しませんか。特派員にはノベルティとして、矢板市産材で作ったオリジナルバッヂをプレゼントしています。



現在、市内外のたくさんの矢板市ファンが活躍しています。一緒に活動してくれる方はぜひご連絡ください。

◀ノベルティ
「YAITA CITY」木製バッヂ

登録資格／

- ・矢板市が好きな方（市内在住・在勤・在学問わざ）
- ・自身のSNSアカウントを活用し、積極的に市の魅力や情報を発信できる方

募集期間／随時募集

そのほか／登録方法など詳しくはホームページをご覧ください。

問い合わせ／

秘書広報課 ☎ (43) 3764

✉ yaita@city.yaita.tochigi.jp



詳しくはこちら

Q 広報クイズ&アンケート

「広報やいた12月号」を読んで○に入る文字を答えよう。正解者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選者には引換券を発送します。（商品の発送はしません）引換券を指定の場所に持参し、プレゼントと交換してください。

●広報クイズ

Q 焚き火に自然と人が集まり語り合うように、人が集いつながる居場所として2018年にオープンしたふるさと支援センターの名称は？

「TA ○ BI」（ローマ字1文字）

●アンケート

- Q1 今月号でよかった内容や写真があれば教えてください。
Q2 取り上げてほしい内容や企画があれば教えてください。
Q3 市内で活躍されている方、おすすめのお店などがありましたらお聞かせください。
Q4 広報に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

●応募は申込フォームから

二次元コードを読み取って簡単に応募できます。



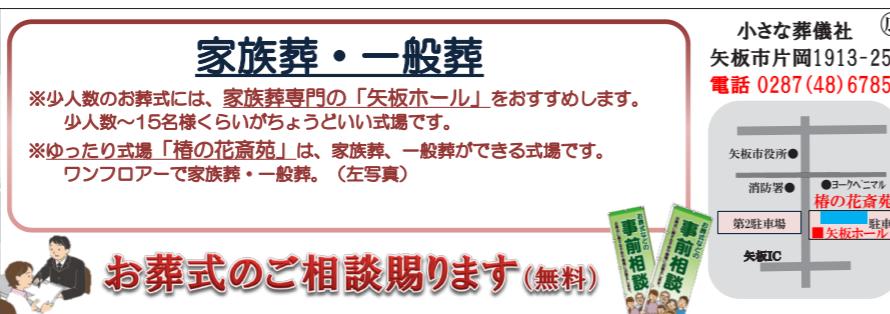
●応募締切：12月25日（木）

PRESENT 今月のプレゼント

渡辺りんご園
完熟りんごジュース 720ml
(5名様)



広報クイズのプレゼントを提供していただけるお店を募集しています。詳細は秘書広報課までお問い合わせください。



1月の各種相談日・休日当番医

●各種相談【無料】

相談種類	日にち	時間	場所	問い合わせ
人権相談	13日（火）	9:30～12:00	保健福祉センター	総務人事課 ☎ (43) 1113
法律相談	15日（木）	9:00～12:00		
心配ごと相談	6・20・27日（火）	9:00～12:00	矢板公民館	社会福祉協議会 ☎ (44) 3000
成年後見相談	21日（水）	10:00～12:00		秘書広報課 ☎ (43) 3764
行政相談	20日（火）	9:00～12:00		生活環境課 ☎ (43) 3621
消費生活相談	月～金（祝日を除く）	9:00～12:00 13:00～16:00	消費生活センター（生活環境課内）	健康増進課 ☎ (43) 1118
健康栄養相談	26日（月）	9:00～12:00 13:00～16:00	保健福祉センター	こども課 ☎ (44) 3600
乳幼児健康相談	9日（金）・19日（月）	ご予約時に お知らせします。	保健福祉センター	（公社）県宅地建物取引業協会 ☎ 0287(62) 6677
不動産相談	9日（金）	13:30～15:30	保健福祉センター	

●休日・救急当番医

診察の内容・時間帯は患者さんの状態や医療機関によりますので、必ず電話でご確認の上、受診してください。

日にち	9:00～12:00／14:00～17:00	17:00～19:00	18:30～21:00
1日（祝・木）	橋本医院	☎ (43) 0406	
2日（金）	西川整形外科	☎ (48) 2552	
3日（土）	後藤医院	☎ (44) 2323	
4日（日）	矢板南病院	☎ (48) 2555	
11日（日）	かるべ皮フ科小児科医院	☎ (43) 1210	
12日（祝・月）	なかじまクリニック	☎ (48) 7701	
18日（日）	尾形クリニック	☎ (43) 2230	
25日（日）	かわしま循環器内科	☎ (43) 5470	

*土曜日は、年間を通じて診療室くろすで行います。（18:30～21:00）

*院内感染を避けるため、院内ではマスクの着用をお願いします。

1月の窓口案内

●マイナンバー休日窓口

予約制
17日（土） 9:00～12:00

市民課 ☎ (43) 1117



予約はこちら

●延長窓口（市民課・税務課の一部業務）

7・14・21・28日

毎週水曜日（祝日の場合は木曜日）は19:00まで延長しています。マイナンバーカードに関する手続きは、事前にご予約の上、お越しください。

市民課 ☎ (43) 1117 税務課 ☎ (43) 1115



ゆかひわ

第 25 回

増山 千春
やよい

ゲストハウス&カフェ「GENO」オーナー



ご縁がつなぐ地域の居場所 ゲストハウス&カフェ「GENO(ジェノ)」

オーナーの増山さん（那須烏山市）の趣味はバイクを自分らしくカスタムすること。5年前に立ち寄ったショッピングで、大型バイク「ハーレーダビッドソン（以下、ハーレー）」と出会い、その迫力と存在感に心を奪われ、購入を決意しました。以来、休日は愛車と共に走る時間を楽しむなど、ハーレーが生活の中心になっていましたと話します。

「バイクを通じて知り合った仲間たちは、自由を謳歌し、人生を楽しんでいて、すごく刺激的だった」そう話す増山さんは、仕事に追われる生活から抜け出し、ハーレーと共に九州を一周する一人旅に出かけました。道中のトラブルでは、その場に居合わせた人たちに助けられ、人の温かさに触れたことが、自身の心の変化につながったと言います。「人の温かさが伝わる仕事をしたい」その想いが起業の原点になりました。

そんな増山さんの想いがつまつた「GENO」は、

塙田地区の住宅地の一角に、圧倒的な存在感を放つモスグリーンの建物があります。ここは、ゲストハウス&カフェ「GENO」。この場所をきっかけに人の縁（GENE）が広がりますように――」。そんな願いを込めて名付けられました。

ゲストハウス&カフェGENO
詳しくはこちらから！



Editor's Note 編集後記

▷特集の撮影でTAKIBIの皆さんを連れ回し、いろんな写真を撮りましたが、今回使われたのはその中のほんの一部。早起きさせて、勤務前に寺山観音寺に呼び出し、40分間座禅を組み瞑想させたあの写真…。あの時は私も迷走中でした。(DYC)

▷サッカー選手権栃木大会にお邪魔してきました。昨年の全国大会前にともなりくん用に縫った矢板中央ユニフォームが、恐れ多くも好評で大満足。そろそろまた新しいコスチュームも作ってみようかな…と考えています。(あ)